



ドリーム館だより



2021/12/06 伊良波中学校 図書館

～今年のご読書をふり返り、また来年へ～

2学期中間テストが終わり、冬休みに入るまでのこの期間に、今まで延期になっていた読書旬間を迎えます。自分をじっくり振り返ることができ、新年へ向けて切り換える大切なこの期間。

お気に入りの本や読みたい本を、友達・親子でお互いに贈りあい、本の世界を楽しむのもステキですね。クリスマスツリーやリース・イルミネーション、街は年々輝きを増していくようですが、事故やケガに気をつけて新年を迎えてください。来年1月6日、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。



12月4日～10日「人権週間・世界人権デー(12/10)」
赤いリボンは、AIDS理解と支援のシンボルです。



12月1日 世界エイズデー
12月22日 冬至(トウジンジャー)

12月25日 クリスマス

12月31日 大晦日(大みそか)



よほど
お願ひします

読書旬間予定表

12-7(火)～12/23(木)
読書冊数コンテスト(貸出 3冊)



冬休み中、ドリーム館の本を教室に置いたままにしないでね。



除夜の鐘に、思いをはせて

除夜の鐘が「ゴ～ン」と響き始めると、「ああ、新しい年が来るんだな」と思います。

108回、鐘を鳴らすことは皆さんも知っていますね。

鐘は、107回目は、最後の直命といい、年内に打ちます。108回目は、最初の警策といい、煩惱に惑わされないよう、眠りを覚ます、といわれています

身を引き締めて新年に思いをはせる、どんな年になるでしょう。



今年もたくさんのご利用ありがとうございました！
来年もドリーム館をよろしく

	12/8 (水)	12/9 (木)	12/10 (金)	12/14 (火)	12/15 (水)	12/16 (木)	12/17 (金)
1	消毒	2-4		準備	準備	準備	準備
2	2-1	2-6	整理		1-2	1-5	1-7
3	2-2		2-3	1-1	消毒	消毒	1-9
4	2-8	消毒・	2-7	1-3	1-8	1-4	1-6
昼休	2年 1,2,8 組	2年 4~6 組	2年 3,7~ 12組	1年 1&3 組	1年 2&8 組	1年 4&5 組	1年 6&7& 9組
5	★	2-5	消毒・	消毒・ 整理	消毒・ 整理	消毒・ 整理	消毒・ 整理
6		消毒・	整理				

3年生は、12/20(月) 1~3組、12/21(火) 4~6組、12/22(水) 7~12組

いじめ



『わたしのいもうと』
松谷みよ子/著

わたしをいじめたひとたちはもうわたしをわすれてしまったでしょうね。周りが成長していく中、いもうとの時間は止まってしまう。



『名前をうばわれたなにかまたち』
タシエス/著

ボクは「名前」さえ他人によってうばわれてしまい、あだ名でよばれている。さらにはひどい「暴力」を受け、存在さえうばわれる。



『いじめを止める力』
フィリス・カマン/著

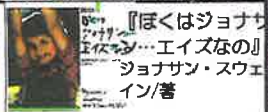
いじめってサイテーだよ。いじめに気づいたときに読んでほしい。きみにもある、いじめを止める力。



『いじめのきもち』
村山 士郎/編

いじめられた時、いじめた時、どんな気持ち？いじめを見ているのもつらい気持ちだよ。『ぼくと同じ！』と共感できる子どもたちの詩。

いのち



未熟児で生まれ、輸血でエイズに感染したジョナサン。家族やまわりの人びとに支えられ、エイズとたたかひながら生きています。



『恋ちゃん初めてのひとり』
國森 康弘/著

さまざまなひとりを写真を通して伝えています。人の死を「冷たいもの」から解き放ち「あったかい死」へとつなげていきます。



中学生の時、手足や言葉の自由を徐々に奪われてしまう病氣と診断されます。そんな病氣と必死にたたかひながら、懸命に生きてきた亜也さんの日記です。



『隣の難民』
織田旭/著

「世界各国は難民を受け入れているところがあるけど、日本ではあまり進んでいないみたい。母国を連れ、日本に逃れてきた外国の家族たち。世界の難民の半分は、子どもたちなんだって。」

自分らしさ



『レインボーキッズ』
金子由美子/著

あなたの身近にレインボーな友だちがいるって知っていた？レインボー(虹色)は、性の多様性を表わすLGBTの象徴。自分らしい色を持っている人たちがいる。



『オール・アメリカン・ボーイズ』
ジェイソンレイノルズ/著

黒人の少年ラシャドはポテトチップスを買った店ですり取りを疑われ、白人の警官から暴行を受け入院する。目撃した白人の少年クインは、その警官が友人の兄だと気づき逃げた。



『いろいろな性ってなんだろう？』
渡辺大輔/監修

いろいろな性と向きあうインタビュー。性のありかたは人それぞれ。生きかたも人それぞれ。さまざまなセクシュアリティを知るための導入編。



『カラフルなぼくら』
スーザン・クークリン

20人に1人がLGBTといわれる時代。6人のティーンが、どのように自らの性と向き合い、自分らしい生き方へ踏み出していくかを通った翻訳ノンフィクション。

12月10日は世界人権デー (12月4日~10日は人権週間)

人権

個性



『顔二モマケズ』
水野敬也

見た目に傷やアザなどの症状を持つ「見た目問題」の当事者9人が、問題を乗り越えて、幸せになれることを証明した物語



『自閉症の僕が跳びはねる理由』
東田 直樹

自閉症とはどのような障害なのか。自分の言葉で説明する事によって、僕は障害を愛することができました。



『わたしたちのトピアス』
セシリア・スベドベリ/著

ダウン症の弟トピアス。トピアスと両親、兄弟との優しいかわりのお姉ちゃんの絵でかかれています。



『だれか、ふつうを教えてください』
倉本智明

「障害」って何、と問う前に「ふつう」って何？目で見る。自分の足で歩く。それが当たり前、と言われる社会で、私達が気づかずにいること。



『ワンダー』
R.J.パラスオ/著

生まれつき顔に障がいがあるオーガストは10歳ではじめて学校へ学校へ行くことになったが…。



『ボクはじっとできない』
バーバラ・エシャム/著

なぜ、自分は落ち着きがなく、失敗ばかりなんだろうと考えていたある日、すばらしい解決策を思いついて…!

こちらもおすすめ

- ★『いのちのバトン〜97歳のぼくから君たちへ』 日野原重明/著
- ★『いじめ 心の中かのぞけたら』 本山 埋味/著
- ★『自分をまもる本』 ローズマリー・ストーンズ/著
- ★『ねずみくんのきもち』 なかえよしを/著
- ★『このあとどうしちゃう』 ヨシタケ シンスケ/著
- ★『青空のむこう』 アレックス・シアラー/著
- ★『カラフル』 森 絵都/著
- ★『えほん障害者権利条約』 ふじい かつのり/著
- ★『わすれられないおくりもの』 スーザン・パーレイ
- ★『13歳からの平和教室』 浅井善文 /著
- ★『LGBT BOOK』
- ★『いじめ 一問からの歌声』 武内 昌美/著
- ★『おじいちゃんがおばけになったわけ』 キム・フォップス・オーカーソン /著
- ★『わたしのおとうと、へん…かなあ』 マリ=エレーヌ・ドルバル/著
- ★『ぼくはここにいるよ』 田島 隆宏
- ★『男らしさ・女らしさって何？』 こんのひとみ/文 丸山誠司/絵
- ★『いのちはどうしてたいせつなの？』 大野 正人/作

